

令和 3 年度西成区運営方針自己評価 説明用資料

令和 4 年度第 1 回教育部会

令和 4 年 7 月 1 日

西成区HP
「運営方針」



重点的に取り組む主な項目

経営課題		戦略	具体的取組 【令和3年度】	結果
1	子どもが育つ 環境の充実	(1) 子どもの「育ち」を支 援	① プレーパーク事業	未達成
			② こども食堂支援事業	達成
			③ 障がいのある子どもや親の孤立防止支 援事業	達成
		(2) 子どもの「学び」を支 援	① 西成区基礎学力アップ事業（西成まな び塾）	未達成
			② 基礎学力向上支援事業（西成ジャガ ピースクール）	達成
			③ 西成区こども生活・まなびサポート事業	未達成

経営課題1 子どもが育つ環境の充実

具体的取組1-1-1 プレーパーク事業

2予算額

17,630千円

3予算額

12,308千円

目標	目標値	結果
プレーパークの一日あたりの来場者数	平均120人以上	平均115人

未達成

取組実績

- ・令和3年4月～令和4年3月で90日開催、合計来場者数10,334人、1日平均来場者数115人
【内訳】もと津守小学校・幼稚園開催79日、合計来場者数9,403人、1日平均来場者数約120人
出張開催11日、合計来場者数 931人、1日平均来場者数約85人

課題と改善策

- ・区内東側地域からの参加者が少ない傾向にある。
- ・他団体との共催等を企画するなど、新規参加者獲得に向けた取り組みを進めるとともに、出張開催を区内東側地域において重点的に行うことにより、東側地域への認知度を高め、さらなる参加者数の増加につなげる。



パーク内生物調べ



火おこしの風景



砂場遊び

経営課題1 子どもが育つ環境の充実

具体的取組1-1-2 こども食堂支援事業

2予算額

4,958千円

3予算額

1,353千円

目標

区内で開設している運営件数
(令和3年3月現在14か所)
すべてが継続されている状態を目指す

結果

開設運営件数が
令和2年度末比の100%

達成

取組実績

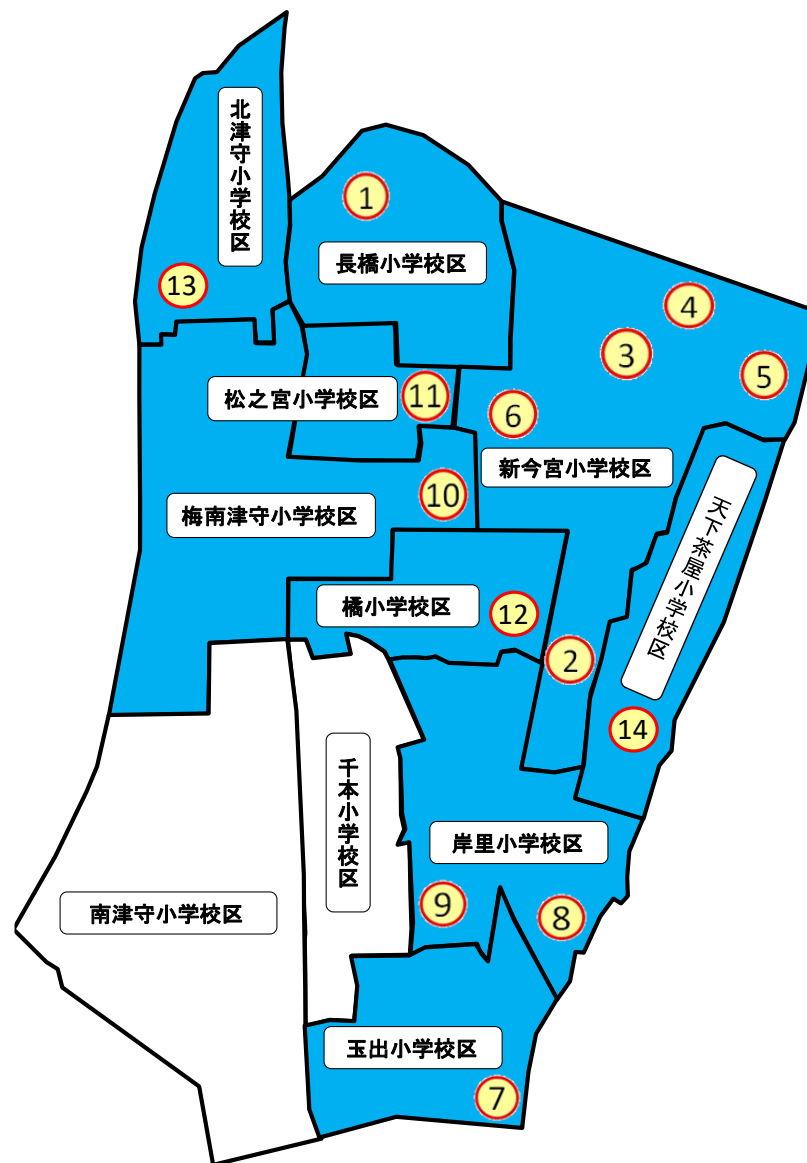
区内で開設している運営箇所(14カ所)すべてが継続されている。

西成区内のこども食堂

- ① にしなり☆こども食堂
- ② すまいる食堂
- ③ さとキッチン
- ④ はぎ食堂
- ⑤ 永信こども食堂
- ⑥ こもれびカフェ えほんとごはん
- ⑦ 子どもの居場所 まーる
- ⑧ まん中広場
- ⑨ 歩みカフェ
- ⑩ 西成キッズ・ダイニング
- ⑪ みんな食堂ソレイユ
- ⑫ Tおむすび食堂
- ⑬ よろしい茸ひまわり子ども食堂
- ⑭ こども食堂「おかき亭」

※①～⑨・⑪・⑬は「こども食堂支援事業」の
補助要件を満たす補助金交付団体です。

※①～⑭はすべて「こども食堂ネットワーク関西」と連携する
区内のこども食堂です。



経営課題1 子どもが育つ環境の充実

具体的取組1-1-3 障がいのある子どもや親の孤立防止支援事業

2予算額

8,079円

3予算額

7,342千円

目標	目標値	結果
障がいのある子ども・親のうち課題を抱えている家庭に対して、関係機関へのつなぎを行う。	3年で 100%	事業の対象者439世帯の内、必要な支援につながっている状況が把握できた世帯及びアウトリーチを行い支援機関等につなぎ等ができた世帯296件

達成

取組実績

手帳取得者約5,000人のうち本事業の対象者:439世帯(令和3年度末時点)

- ・家庭訪問及び相談支援:必要な支援につながっている状況が把握できた世帯及びアウトリーチを行い支援機関等への繋ぎ等ができた世帯296件(令和3年度末現在)
- ・連続講座:令和3年度申込み実績8人
- ・保育所等送迎支援:令和3年度実績6人(支援回数342回)
- ・言語聴覚士による専門相談:令和3年度実績39人(相談回数48回)
- ・専門的家庭訪問支援:令和3年度実績11人

課題と改善策

・令和2年度より、従来から手帳を取得している人がいる世帯について状況把握に取り組んでおり、状況把握及びアウトリーチが可能な世帯へのアプローチは概ね終結する見込みであるが、新規手帳取得者をはじめ件数は少ないものの、新たに支援機関等への繋ぎが必要となるケースが今後も継続して出てくるものと考えられる。そのため、必要な支援につながるができるように、相談窓口の案内を効果的に行う方法を検討していく。

経営課題1 子どもが育つ環境の充実

具体的取組1-2-1 西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾)

2予算額

186千円

3予算額

186千円

目標	目標値	結果
参加者へのアンケートで、基礎学力の向上及び学習習慣の定着を測る項目について肯定的な意見	70%以上	学力があがったと答えた生徒 69% 勉強の仕方がわかってきたと答えた生徒 73%

未達成

取組実績

- ・対象は区内の中学生
- ・参加登録者数(令和3年度)
 - 鶴見橋中学校 22人
 - たちばな会館 22人
 - 玉出老人憩の家 22人
 - 合計 66名

課題と改善策

・「勉強の仕方がわかってきた」と答えた生徒が目標を達成し、学習習慣の定着につながってきている一方、「学力があがった」と答えた生徒69%で目標を少し下回っており、学力の向上に向けては途上である。

・学校や事業者と連携を図り、効果的な学習指導が行えるように必要な情報共有をより一層進めることで、「勉強の仕方がわかってきた」生徒が学力向上に結びついてくような取組みを進めていく。

経営課題1 子どもが育つ環境の充実

具体的取組1-2-2 基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール)

2予算額	7,744千円	3予算額	7,744千円
------	---------	------	---------

目標	目標値	結果
授業初回と最終回に実力テストを実施し、得点がアップする児童の割合	70%以上	テストを受験したうちの約76%が成績上昇

達成

取組実績

- ・区内小学校全10校で実施(夏休み期間、平日の放課後及び土曜日に実施)
- 【3・4年生】定員304名に対し、261名が参加
- 【5・6年生】定員160名に対し、147名が参加

経営課題1 子どもが育つ環境の充実

具体的取組1－2－3 西成区こども生活・まなびサポート事業

2予算額	69,679千円	3予算額	65,593千円
------	----------	------	----------

目標	目標値	結果
学びの場への定着を目的とし、遅刻者数や不登校者数の改善	前年度より減少させる	前年度に比べて遅刻者数は減少し、不登校者数は増加した。

未達成

取組実績

・こども生活・まなびサポーターを区内全小中学校に1名ずつ配置した。新型コロナウイルス感染症拡大により、臨時休業や出席停止等が相次ぎ、支援が制限された時期もあったが、学校やこどもサポートネット、その他関係機関と連携しながら、児童・生徒の問題解決に向けて、寄り添い支援等を行った。

課題と改善策

・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う児童生徒の心理的不安の増加や家庭への支援実施の制限が要因であると考えられる不登校者数の増加が見られる。
 ・コロナの感染状況の行方が不透明であるが、そういった中でも児童生徒が学びの場へ定着できるようにより一層学校や関係機関との連携を緊密に行い取り組みを進めていく。

経営課題1 子育て環境の充実 自己評価のまとめ

◇プレーパーク事業

もと津守小学校・幼稚園での来場者数は一定目標に達しているが、区内東側地域からの参加者が少ないので、他団体との共催等の企画や、出張開催により区内東側地域への認知度を高めることで、さらなる来場者数の増加に向け取り組んでいく。

◇こども食堂支援事業

区内に14ヶ所のこども食堂が、子どもの居場所としても利用されているので、継続して実施を行っていく。

◇障がいのある子どもや親の孤立防止支援事業

従来から手帳を取得している人がいる世帯へのアプローチは概ね終結する見込みであるが、新たに手帳を取得するなど支援機関等への繋ぎが必要となるケースについて、相談窓口の案内を効果的に行う方法を検討していく。

◇西成まなび塾

学習習慣の定着につながってきている一方で、学力の向上については途上であるので、学校や事業者との連携を図り、学力向上に結びつくような取組を進めていく。

◇西成ジャガピースクール

児童の成績上昇につながっているので、継続して実施を行っていく。

◇西成区こども生活・まなびサポート事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響によるものと考えられる不登校児童生徒の増加が見られるため、そういった状況下でもより一層関係機関との連携を緊密に行うことで着実に取り組みを進めていく。

引き続き、子ども自身が課題や困難を乗り越える「生きる力」を育む居場所づくりや、子ども達の学習習慣の定着と学力向上に取り組むことで、子育て環境の充実を図っていく。